

**製品名: SMAD1 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM82987**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	52.3kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SMAD1
別名	BSP1; JV41; BSP-1; JV4-1; MADH1; MADR1
遺伝子 ID	4086.0
SwissProt ID	Q15797
免疫原	大腸菌で発現したヒト SMAD1 (AA: 1-110) の精製された組み換え断片。

**背景**

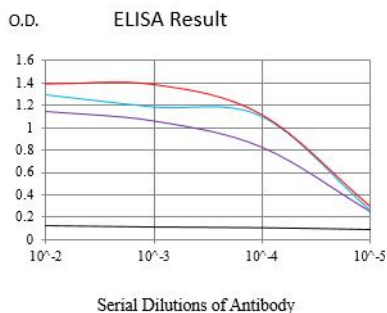
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ショウジョウバエ遺伝子「mothers against decapentaplegic」(Mad) および線虫遺伝子「Sma」の遺伝子産物に類似したタンパク質ファミリーである SMAD に属します。SMAD タンパク質は、複数のシグナル伝達

経路を媒介するシグナル伝達因子および転写調節因子です。このタンパク質は、細胞増殖、アポトーシス、形態形成、発達、免疫応答など、様々な生物学的活動に関与する骨形成タンパク質（BMP）のシグナルを媒介します。BMP リガンドに反応して、このタンパク質は BMP 受容体キナーゼによってリン酸化され、活性化されます。リン酸化型タンパク質は、転写調節における機能に重要な SMAD4 と複合体を形成します。このタンパク質は、SMURF1 や SMURF2 などの SMAD 特異的 E3 ユビキチンリガーゼの標的であり、ユビキチン化およびプロテアソームによる分解を受けます。同じタンパク質をコードする選択的スプライシング転写変異体が観察されている。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

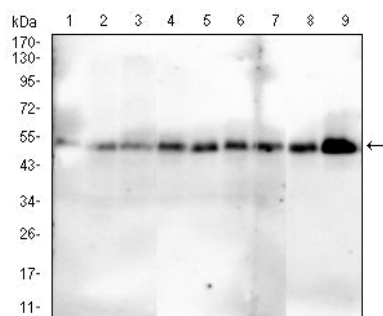
## 研究分野

TGF- $\beta$  シグナル伝達経路

## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



SMAD1 マウス mAb を用いた Hela ( 1 ) 、 HepG2 ( 2 ) 、 MCF-7 ( 3 ) 、 C2C12 ( 4 ) 、 A431 ( 5 ) 、 A549 ( 6 ) 、 LNCap ( 7 ) 、 NIH/3T3 ( 8 ) 、 PC-12 ( 9 ) 細胞溶解物に対するウエスタンブロット解析。